

泊発電所放射性気体廃棄物の放出量の報告値誤りに関する根本原因分析に基づく再発防止対策の概要について

1. 根本原因分析について

根本原因分析においては、当該設備の設計・建設および運用検討から放射線量評価を実際に運用している時点までの時系列を整理し、問題点を洗い出すとともに、それらの要因分析から直接要因を抽出しました。更に直接要因を深掘りした分析を行い、本事象を発生させてしまうような組織要因（組織的な弱点）を抽出し、その対策を策定しました。（図1参照）

今回の分析結果や再発防止対策を取りまとめるにあたっては、当社だけではなく、専門的な知識・経験を有している外部の専門家のご意見をいただき、再発防止対策に反映しました。

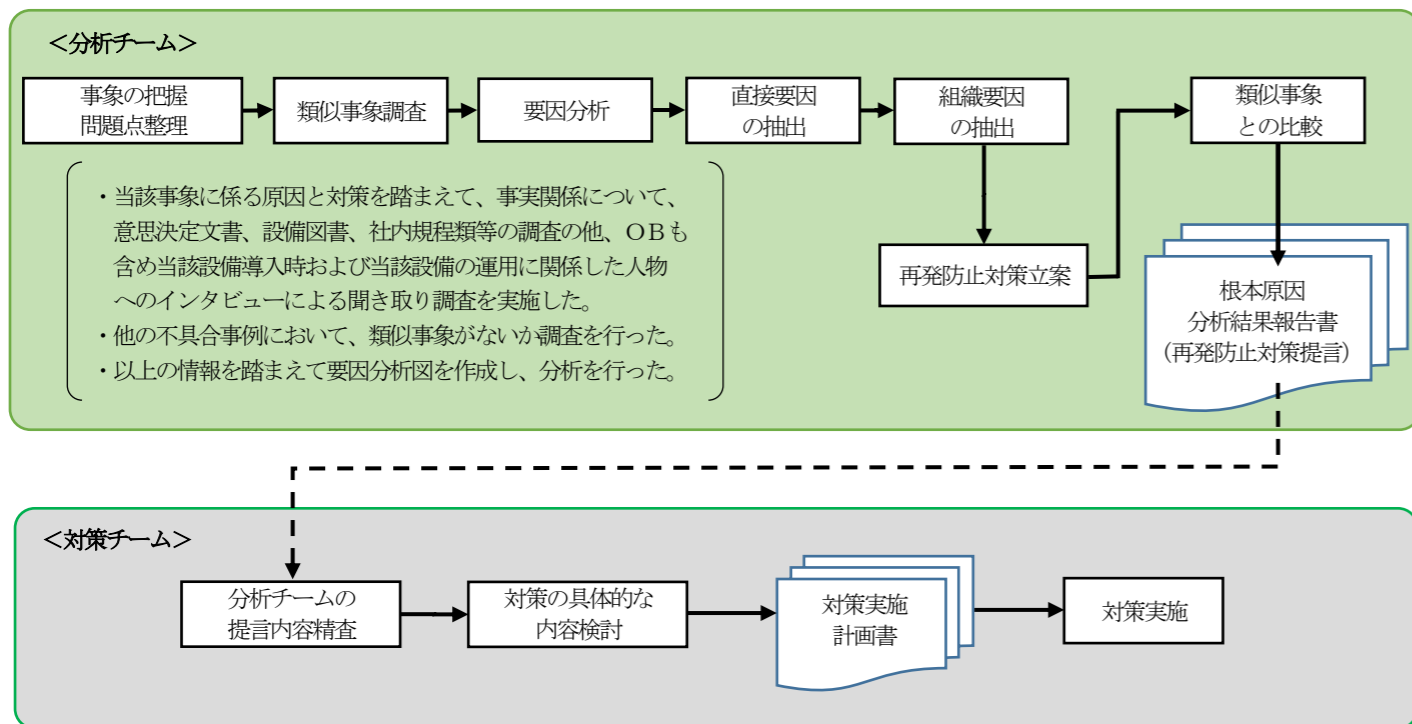


図1：根本原因分析の流れ

2. 根本原因分析結果および再発防止対策について

根本原因分析の結果、3つの組織要因が抽出されたため、これらに対する再発防止対策と実施スケジュールを策定しました。（表1参照）

表1：組織要因と再発防止対策および実施スケジュール

組織要因	再発防止対策	実施スケジュール		
		2020年度 9～12月	2021年度 1～3月	2021年度 以降
業務目的を意図・確認する 仕組みの不足	手順書等を定める際に、必要不可欠な着眼点を社内規程類で定めているが、この記載の適正化を図り、教育を継続的に実施する。	社内規程類改正		教育実施
	本来の目的を見失った業務とならないよう、社内規程類に目的と業務内容の整合を図っていく構成管理活動 ^{※1} について明確にし、この取組みを着実に継続する。	対策済／運用継続中 2020年4月～		
明確にした教育の仕組みの不足	業務遂行に必要な知識と技能の内容が明確になっておらず、その知識と技能を習得するための具体的な教育内容を体系立てて設定し、教育する仕組みが不足していた。	業務遂行に必要な知識と技能を明確にし、確実に習得させるために体系的な教育訓練手法 ^{※2} を取り入れた教育を社内規程類で明確にし、この取組みを着実に継続する。		
自らの業務をしっかりと把握し、改善を加えていく姿勢の不足	安全文化の育成活動において、不足している姿勢を改善するために本事象を題材とした意識改善活動を継続的に実施する。	教育資料作成		教育実施
	外部の目によるオーバーサイト活動を常に意識し、自らの業務に少しでも疑問を持ったままにせず、必要な周囲を巻き込み改善を加えていく姿勢」が不足していた。	外部の目によるオーバーサイト活動 ^{※3} の取組みを着実に継続し、業務に潜むリスクに気づく感度の向上を図る。		
	社内規程類にオーバーサイト活動の際のポイントおよび関係箇所との連携について明確にする。	社内規程類改正		オーバーサイト活動に適用
		対策済／運用継続中 2018年4月～		

※1：設計要件（設備・機器に要求される条件）・施設構成情報（設備・機器に関する図書、情報）・物理的構成（実際の設備・機器そのもの）の3つが整合しているかチェックする活動
 ※2：業務遂行に必要な知識・技能等を分析・抽出し、これらを習得させるための教育訓練プログラムを開発・実施し、その後の評価・改善を行う一連の流れを体系的に行う手法
 ※3：発電所外の者が発電所の活動を第三者的な立場から確認・評価し、指導・助言を行うことにより改善につなげる取組み